「平和と人権」市民ネットワーク情報 NO18-7

事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　　2018.7/23

7月1日、「伊東市民アクション」全員集会が開かれました。

◆7 月 1 日(日)にひぐらし会館・会議室で「伊東市民アクション」全員集会を開き、改憲反対運動をどう進めるかを話し合いました。会場には会員・非会員の人たちを合わせて 32 名が集まりました。5/13 の渡辺治先生の講演をビデオ視聴したのち、参加者が 3000 万人署名の経験を語りました。後半は、事務局からの行動方針案を受けて、参加者がそれぞれの考えを述べました。要約すれば、伊東市民に改憲反対の声が届くようなわかりやすい訴えを工夫すること、その運動を通して、国民投票の際に反対票を投じる人を組織化していくことが、「アクション」のこれからの課題であることを、確認しました。

参加者の発言から

(1)　3000 万人署名の経験交流

Sさん…今日の集会までに 500 筆集めたかったが、締め切りが延びて気が抜けた。廻るとほとんどの人が協力してくれる。話していくと理解してもらえる。署名してくれなくても、わかってもらえるだけで成果がある。

Mさん…自分が集めたのは家族とか去年までの職場の人など、20～30 筆程度だった。教育関係者のサークルとしては、学習会をやったりして、これまでになくたくさんの署名を集めた。家の門にプレートを掲げたら、娘に「恥ずかしいから止めて」と言われたのがショックだった。

(2)　これからの運動について

Kさん…女性に訴えかける視点が大事。安倍改憲 NO！では硬い。

…若いママさんたちをどう引き込むか。生活そのものが政治なんだ、ということを若い人に知ってもらいたい。

Tさん…「九条の会」には誘えるけど、「市民アクションに入りませんか」とは言いにくい。

Fさん…改憲反対者の名簿作りは必要だと思う。「私も反対」という声を広め、宣伝したい。

(3)　まとめ

Kさん…いろんな対話の姿が語られた。憲法はわからない、難しい、という人が一番多い、という話が印象に残った。そういう人にどうやって働きかけたらいいか。

・まず勉強する。
・グループで当たる。
・素直に自分の気持ちを伝える。
・女性を視点に。
・玄関先にプレートを貼る。
・活動しなくても、意思表示できる方法を。

明治 10 年代の自由民権期と同じように、今、初めて伊東で、これからどんな国にしていくかを市民が語り始めた。

宇都宮健児弁護士、講演会の案内

◆10 月 6 日(土)、宇都宮健児弁護士を招いて、「ひぐらし会館」で講演会を開きます。宇都宮さんはサラ金やヤミ金被害に苦しむ人たちなどの弁護活動を通して、社会的弱者・経済的弱者の人権擁護のために闘ってきました。2014 年の都知事選に立候補し、当選した舛添候補をあと一歩のところまで追い詰めました。宇都宮さんの足跡は、人権を守ることは全人格を賭けた闘いであることを私たちに教えてくれます。

宇都宮講演会は 2 月 25 日に開いた山内敏弘先生に次ぐ二回目の憲法講演会です。山内先生には 9 条改憲によって、これまでの 9 条解釈がどう変わるのかを中心にお話しいただきました。宇都宮先生には、それとあわせて戦争が可能な国家に変わったときに、人権の憲法的価値がどのように変わるのかを語っていただきます。「講演を通して平和・民主主義・人権の不可分の関係を学習する」ことが宇都宮講演会の目的です。要綱は以下の通りです。詳しくは同封(添付)の案内チラシをご覧ください。 チケットは書店に置いてありますが、不明の方は「市民アクション事務局」(37-9134)までお問合せください。

講演・演題･･･『憲法をくらしに生かし平和と人権を守るために』

日　時…１０月６日(土) 13:30 開場、１４：００開会
会　場…「ひぐらし会館」３階ホール　(℡ 38-1511)
参加費…５００円/人(高校生以下無料)
主　催…「安倍 9 条改憲 NO！伊東市民アクション」(℡ 37-9134)
※参考図書…宇都宮健児著「自己責任論の嘘」(ベスト新書)

寄稿　　一辺野古ツアーに参加してー　　三好康昭

7 月 6 日から 8 日まで、辺野古ツアーに参加しました。台風の合間の好天に恵まれ、念願の辺野古基地ゲート前抗議行動に加わることができました。

7 日朝 8 時にキャンプシュワブ･ゲート前へ。ゲート脇の道端に続々と人が集まりその数は 60 人～80 人。もし沖縄防衛局が基地内に埋め立て資材を運び込もうとしたときは、身体を張ってダンプの通行を妨害するよう”教唆”されていました。言われた通りノコノコ道路上に座り込んだら、機動隊員にゴボウ抜きにされ痛い目に合うかもしれない。「その時は物陰に隠れていよう」などとよからぬことを考えていましたが、幸い資材の運び入れはなく機動隊も現れませんでした。代わりに、韓国光州市から「5 月民主女性会」の一行 20 人が座り込み行動への激励に来られました。1980 年 5 月、光州事件で弾圧された人たちの親族です。代表者の挨拶に続いて、道路上で演舞を披露。最後に女性たちが全員で歌声を。デジカメを構えながら私は目頭が熱くなりました。

12 時から始まった県民集会は盛況でした。5 人の国会議員が来られ、その中のお一人伊波洋一さんに昨年 5 月の伊東講演のお礼を言いました。スピーチに立った人たちは、8 月 17 に始まる辺野古湾の埋め立て・土砂投入に強い抗議と怒りを口にしていました。そして、翁長知事による埋め立て承認の撤回表明を待望していました。病身の知事は集会に寄せたメッセージの中で、機会を見て必ず撤回表明をする、と決意を述べていました。おそらく、8 月 17 日前までに埋め立て承認の撤回が表明されるでしょう。集会の最後に、参加者全員―その数は 2000 人!―が手を繋いで、「今こそ立ち上がろう」を歌いあげました。感動的なシーンでした。参加者数からみると国会前大集会よりもずっと小規模ですが、参加者の一体感と熱気はそれを上回っているように感じました。良いときに沖縄に行き、素晴らしい集会に出会うことができて幸運でした。

ツアーを呼び掛けたのは「静岡、沖縄を語る会」の富田さんです。富田さんは沖縄を何十回も訪れ、基地や戦跡はもちろん沖縄のことを隅々までご存知で、懇切丁寧にガイドしてくれました。同行した人たちは皆、親切でユーモアがあり楽しく気持ちの良い時間をともにしました。二泊目の宿（民宿「美らたま」）の若い女性主人の暖かいもてなしは忘れません。辺野古ツアーで出会った人たちに感謝です。機動隊の皆さんには出会わなかったことに感謝です。

（7 月 9 日　記）

寄稿　―佃前市長逮捕をめぐって―

【その 1】　「悔い改めなければ」　川奈聖書教会牧師　山口光仕さん

伊東市の前市長が贈収賄の疑いで逮捕された事件が大きく報道されています。多くの市民の反応は驚きではなく「やっぱり」「ようやく」といったものです。3 期 12 年務めた前市長の黒い噂は私も含め多くの人の耳に入っていたことでした。当然今回の報道を受けて怒りの声が噴出しています。市民が納めていた税金がこのような形で使われていたことへの怒りは当然のこと。犯罪によって私腹を肥やした人々の不正がただされることを望みます。しかしながら、この事件が逮捕された前市長や数人の関係者の問題で片付けられないことは明らかです。前市長は三度、選挙によって選ばれています。たまたま偶然のこととは言えません。このような市長を生み出す土壌が地域にあったが故の事件という他はありません。別の見方をするならば、前市長は逮捕されましたが、彼のような市長を生み出した地域の土壌は歴然と今も残っているのですから、これからも様々に形を変えて同種の問題が起こるでしょう。自分自身の問題として一人一人が悔い改めなければ何も変わらないのです。

……(省略)……

地域のことだけではありません。家族・職場・教会、様々な場所において何か問題が表面化した時に一部の人に責任を押し付けることにおいて、自分の愚かさや罪・自己中心の問題を回避してしまうずるさが私たちの内にあります。けれども、多くの問題は特定の人々にだけ責任があるのではなく、そういう問題を生み出した土壌として周囲の人々にも関係しているのです。

この事件が報道され、私たちは伊東市にある教会として礼拝式において悔い改めの祈りをささげました。神様の御前に教会・キリスト者に与えられた世の光・地の塩としての務めを果たすことができていない不忠実を認めざるを得ません。悔い改めて真の王なるお方の御心に忠実に仕える教会・キリスト者でありたいと願います。主の平和がこの地に与えられますように。

(川奈聖書教会発行「こひつじ」2018 年 6 月号)

※山口牧師は「伊東市民アクション」結成の呼びかけ人の一人です。

【その 2】市議会、特別委員会の動き　市議　重岡秀子さん

佃前市長逮捕・起訴の不祥事　議会はどう動いていくのか！
―「土地取得に係わる監視機能強化特別委員会」が始動―

6 月 16 日　佃弘巳前市長が逮捕・7 月 6 日に起訴されるという事態になりました。現在ひぐらし会館などを使用する際の駐車場になっている元マンダリン岡本ホテルの跡地購入を巡る 1300 万円の収賄容疑です。逮捕の一報が入ったときは 6 月議会が開始された直後のことで、本会議場で市長

以下、市の幹部が起立し、深々とこの不祥事に対して陳謝し、再発防止を宣言しました。 *(伊豆新聞 7/7→)*

平成30年（2018年）7月7日
東京地検
佃前市長ら起訴
3贈収賄で3人
3回にわたり1300万円

しかし、重要なことは今後の姿勢です。当局も「土地取引に関する業務の見直し検討委員会」を立ち上げ、佃市政 12 年間の土地取引（主なもの 10 件）に関し、その購入経過などを検証し、二度とこのような収賄事件を起こさないように、土地取引に関するマニュアルも作成することを決めました。議会も 3 会派、市民民主クラブ（元民進クラブ）日本共産党・伊東新時代が特別委員会を提案！その結果「土地取得に係る監視機能強化特別委員会」が結成され 7 月 12 日に最初の委員会が開かれました。市長のトップダウン的な土地購入経路があったことは確かですが、では議会はどのようなチェック機能を果たしたのか自らも検証しなければなりません。議事録を見直すと、6 月議会に急に土地購入のための 2 億 1000 万円という大きな補正予算が提出されたにも拘わらず、また図書館も含む生涯学習施設といった曖昧な目的だったにも拘わらず、この土地購入に対して質疑をしているのはわずか 4 議員、反対したのは 2 議員のみでした。当局も議会も市長提案に対して物が言えない市政になっていたことが最大の問題ではないでしょうか。また重要なのは「この収賄事件は氷山の一角にすぎないのでは？」という多くの市民の声です。市議会として、この土地購入にとどまらず公共事業の入札や補助金審査過程・天下り人事などに今後どこまで検証していけるか・・市民の市政への厳しい目の後押しも必要と思います。

高校生フェス“青春の風”大宣伝　入場無料

ひぐらし会館　8月2日(木) 13:00 開場、 13：30開演

新生市民劇場が、伊東市民のあなたに贈るこの夏の企画をお知らせします。ご存知の通り、新生市民劇場は演劇等の鑑賞団体ですが、そんじょそこらの鑑賞団体とはエライ違いますぞ。第一に、解散の危機を乗り越え、会員が百人もいないのに手弁当の役員を中心に様々なイベントを企画し、市民が少しでも文化を享受できる場を提供し続けています。その中の一つが今回の企画です。地元の高校生と繋がりたい、地元のおじさん、おばさんが同じ街で生きて暮らす高校生を応援したい、その思いを伝え続けたい―その思いで新生市民劇場スタート時点から伊東高校演劇部と関わりを持ち、発表の場を用意し声援を送り続けています。今年は思い切って地元の高校すべてに声をかけてみました。「発表の場を用意します。おじさん、おばさんは応援したいんです」。投げかけに応え、今回は伊東高校定時制バンド部、熱海高校エイサー部、伊東高校演劇部、三島南高校軽音楽部、に所属するメンバーが出演する運びとなりました。お~い、地元のおじさん、おばさん、高校生を応援しましょう!!

(浦島浩司、記)

※案内ビラを同封(添付)しました。

【お断り】前号に続き内容がネットワーク情報と連動していますので合体版としてお知らせさせていただきます

安倍９条改憲 NO！憲法を生かす 3000 万署名の成功を！

市民アクション通信

No.7
2018.7.23

発行 ＝ 安倍9条改憲NO！伊東市民アクション

署名集約先：〒414-0046 伊東市大原 2-1-1 伊東市職労付　Tel.0557-37-9134　Fax.0557-37-1347

全国市民アクションがアピール

まだまだ広げられる！ さらなる戸別訪問と対話を

秋の臨時国会めざし、3000 万人達成に進もう

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」は7月１日、安倍政権の改憲発議を断念させ、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」を達成するために、いっそうの奮闘を求める「アピール」を発表しました。要旨を紹介します。

◆ 安倍首相と自民党が、あくまで「年内の改憲発議」の方針にしがみつき、発議への地ならしを進めようとしている。今秋に予定される臨時国会で発議を阻止できれば、安倍自民党の改憲の野望は非常に実現困難になる。

◆ 目標の３０００万人（４月末現在 1350 万人）を早期に達成すれば、とどめを刺すことが可能になってきた。安倍政権の不正・腐敗により、日本の民主主義は最悪の危機に瀕している。こんな政権と政党に憲法を変えさせてはならない。

◆ 署名の第４次集約日を９月３０日とする。安倍９条改憲反対の世論を確実なものにするためには、地味に見えても面接と対話の機会を作り出すのに効果的な戸別訪問と、「暑中見舞い作戦」など、暑い中、健康・体力に注意しながら創意工夫をこらした取り組みを展開しよう。

7.19 国会前大行動に集まった人たち

―伊東市民アクションの運動も新たなステージへ―

次の目標1万筆へ向け、地域で組織で共同行動を広げよう

皆さんの頑張りで事務局によせられた署名数は７０００筆を超えました。しかしまだ道半ば。私たち伊東市民アクションはこのほど全員集会を開き、これまでの活動を振り返りながら経験を交流し、次の運動のステージを作り上げるべく意見を出し合い、当面の活動目標を以下の通り確認しました。

☆ まずは運動体としての力をつけるため、会員を増やす。事務局のセンター機能を強め、宣伝・連絡体制を強める。

☆ 地域（コミセン）単位でその呼びかけ人・会員を中心に「活動拠点」を作る。当面１万筆達成へ向けた共同署名行動の実施や、市民に向けた宣伝活動（街頭宣伝やポスティングなど）を重視する。

☆ １０月６日（土）の宇都宮健児講演会の成功に力を尽くす。

☆ 国民投票を視野に入れた運動の具体化も行っていく。

3年前のこの日を忘れない

9･19「戦争法廃止」･「9 条改憲 NO！」アピール行動を予定